

県連ニュース

2008年6月1日発行
栃木県勤労者山岳連盟

2008年クリーンハイクアピール・・・1
2008 MFA講習会のご案内（追加日程）・・・2
県連第5期ハイキング楽校 卒業有志山行 立山・・・4

2008年クリーンハイクアピール

2008年6月1日 日本勤労者山岳連盟

長い寒冷のつづいた冬をのりこえ、早い開花の春、新緑の季節がめぐり、クリーンハイクの時期となりました。

今年のクリーンハイクは、労山が全国いっせいに はじめてから35年目となります。この一年間、労山自然保護憲章の学習や、自然保護活動の充実など各地で意欲的なとりくみがすすみました。さらに、国の内外で地球温暖化への関心が高まり、山岳自然への影響の調査・観察や学習、CO2削減行動などの模索がはじまっています。こうした状況のなかでのクリーンハイクとなります。昨年5月、廃棄物学会で最近5年間（02年～06年）のクリーンハイク活動をまとめ報告しました。その内容は、40前後の都道府県で、420会・クラブから約8400人が参加し、主として国立公園・国定公園内内の230山域・350コースで実施 ゴミの状況・特徴は、可燃ごみが約3300kg、不燃ゴミは約10000kgを回収 登山道入り口から上部の登山道のゴミはほとんどなく、きれいになってきたが、登山道入り口から山麓にかけて車の入る林道や沢に不法投棄された廃棄物はむしろ増えている というものです。

この活動の規模・内容は、私たちのとりくみの到達点であり、活動の力量を示すものとして評価されました。山全体としてみれば、「ゴミは減っていない」ことが明らかになっており、クリーンハイク活動は、山の現状を社会に発信しつづけるために意義のある活動です。

以上の到達点から、今年のクリーンハイクでは次の諸問題をふまえながらとりくみましょう。

- 1、ゴミはゴミを呼びます。きれいになった山域でも清掃をつづけましょう。
- 2、清掃とともに、自然の状況や変化を観察し、登山道の点検や整備にとりくむ会・クラブも増えてきました。とくに観察活動は、地球温暖化の進行と生態系への影響の広がりからみて大事な活動となります。なにができるか話し合う機会にしましょう。
- 3、不法投棄の廃棄物対策については、各地方連名の判断に委ねていますが、廃棄地点とその不法投棄の状況について、写真などの映像などでも記録し、当該自治体に報告し、対策を求めつづけていくことも必要です。
- 4、地球温暖化のこれ以上の進行をくいとめるために、CO2削減行動にとりくむ団体・企業・個人が増えています。基本は大企業・主要産業の削減行動が必要ですが、労山として、登山・ハイキ

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：田村宣男 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

ング行動のなかで、CO₂削減にどのようにとりにくんでいくのかについて検討していくことが求められています。

今年も広い層の人々に参加を呼びかけ、清掃登山のなかで山の自然と地球環境を守っていく意義を話し合い、交流を深める楽しいクリーンハイクにしていきましょう。

2008 M F A 講習会のご案内 (追加日程)

「M F A プロバイダー養成講座」実施要綱

M F A とはメディック・ファースト・エイド (MEDIC・FIRST・AID) の略称です。アメリカで 25 年以上も前に誕生した市民レベルの応急救護の手当ての訓練プログラムで最新の医学的、そして教育学的情報を盛り込んでアップデートしながら現在まで活動を続けています。教える内容は、手当てのテクニックだけでなく、救助前の安全から感染予防から手当て後のケアまで、負傷者だけでなく救助者の安全や心理的な側面までカバーしています。また、国連関連組織である世界安全機構の支持を受けており、現在、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、イギリス、オーストラリア、ギリシャ、日本に国際サービスオフィスを置き 140 カ国以上で普及している国際的なプログラムです。

開催日時：2008 年 4 月 20 日 (日) 5 月 17 日 (土) 6 月 14 日 (土)
7 月 26 日 (土) 9 月 27 日 (土) 10 月 25 日 (土)
時間は毎回 9 時～17 時

開催地：日本勤労者山岳連盟・事務所 (東京都新宿区新小川町 5 - 24)

参加資格：特になし (労山会員は受講費の補助があります)

募集人員：3～12 名

受講費用：18,000 円

申し込み締め切り：定員になり次第締め切り

申し込み：日本勤労者山岳連盟・遭難対策部

講習内容

ベーシック MFA フルコース + A E D

応急手当とケア

緊急事態に気づく

救助しようと決める

かかわる人の安全

バリア (保護用具) を使う

意識レベルを評価する

背骨の受傷機転

救急隊 (EMS) を呼ぶ

生命を支えるための基本スキル

気道 - 頭部後屈あご先挙上

気道の異物を取り除く

気道を守る - 回復体位

呼吸 - レスキュー呼吸

循環 - 胸部圧迫

突然の心停止 - A E D を使う

胸を出して準備してパッドを貼る

A E D の基本操作

トラブル解決のためのメッセージ

A E D その他の注意事項

出血のコントロール

ショックを管理する

異物による気道閉塞

評価の継続

重大な病気の警告兆候

重度の受傷機転

四肢 (手足) の腫れ、痛み、変形

個々の問題の手当て

患者を移動する

初期の評価
意識不明の患者
心停止のためのCPR

応急手当に伴う精神的なインパクト(衝撃)

3名以上の受講生が集まった場合は別途日時も検討します。
お気軽にお問い合わせ下さい。

申 込 書

年 月 日

「MFA Basic Plus」講習会に参加いたします。

参加日希望日に して下さい。 4月20日(日) 5月17日(土) 6月14日(土)

7月26日(土) 9月27日(土) 10月25日(土)

氏名

生年月日

性別

住所(〒 -)

電話番号

FAX

Eメール

所属地方連盟

所属団体名

申込先・問い合わせ先

日本勤労者山岳連盟 遭難対策部
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
Eメール jawf@jwaf.jp

第5期楽校 有志卒業山行～立山～

～雪山総合実技、残雪の立山の楽しい思い出～

日時：2008年5月3日(土)～5日(月)：参加者22名(講師含む)

1日目「5月3日(土曜日)」

・天候：小雨から晴天
・コース：石橋P 岩船P 太田桐生IC 立山IC 室堂P・・・室堂山荘・・・浄土山・・・一の越山荘・・・室堂山荘(泊)

1日目「5月3日(土曜日)」

・天候：小雨から晴天
・コース：石橋P 岩船P 太田桐生IC 立山IC 室堂P・・・室堂山荘・・・浄土山・・・一の越山荘・・・室堂山荘(泊)

2日目「5月4日(日曜日)」

・天候：晴天
・コース：室堂山荘・・・山崎カール・・・ローソク岩・・・雄山・・・一の越山荘・・・室堂P ロッジ太郎(泊)

3日目「5月5日月曜日」

・天候：曇り後雨
・コース：ロッジ太郎 立山IC 太田桐生IC 岩船P 石橋

第5期ハイキング楽校もいよいよ5月連休恒例の有志卒業山行です。これまで1年間の訓練の成果を踏まえて 残雪期の立山に行ってきました。

<1日目>

1日目は、室堂平への移動と浄土山登山というハードスケジュールです。お二人が感想文を書いてくださいましたので、以下、読んでください。

<第5期楽校 有志卒業山行～浄土山登山～感想文 > マロニエHC 手塚一夫

皆の大荷物も何とか納め、予定通りバスは、朝4時に石橋駅東口を出発した。途中、岩舟町役場で、4名を乗せ総勢22名が揃う。

新しく出来た太田桐生ICから北関東自動車道路へ入る。長野あたりで、左側に北アルプスの白い山々が見えてくる。予想通りの晴天になった。大貫先生の「山へのいのり」など、班毎の歌合戦をしながらバスは走る。名立浜SAでぶり寿司などを仕入れて、昼食はバスの中で済ませる。立山ICから一般道へ出て、お昼頃に立山有料道路へ入る。

期待していた雪の大回廊は8メートルぐらいの高さしかなかったが、観光客が銀座通りのようにたくさ

ん見物に来ている のには驚かされた。室堂ターミナルに午後 1 時に到着し、すぐ、今日の宿舎室堂山荘へ向かうが、これから登る浄土山、立山の稜線の 雄大さに身がひきしまる。

室堂山荘に荷物を置いて、本日の目的地浄土山へ向かう。前の人のお跡をきちんとトレースして進むよとの注意があったが、傾斜のゆるいところでは、トレースしないで自分の歩幅で歩いてしまうことが多かった。

本格的登りを前にアイゼンを付け、登り始めるが、かなりの急勾配である。アイゼンのトップを雪の中に蹴りこみながら上る。トレースしながら所によっては深い穴に嵌まって足が抜けなくなり、助け出されることもあったが、訓練の成果なのか、パーティは 順調に高度を稼ぐ。約 2 時間程で、浄土山頂上に到着した。



浄土山山頂にて

小休止後すばらしい展望の稜線歩きを楽しみながら、富山大の研究施設がある一の越と龍王岳分岐



分岐にて記念撮影ここには富山大の研究施設がある

に到着。そこで大貫先生から、あれが薬師岳、黒部五郎岳、笠ヶ岳などアルプスの山々など指し示し説明していただく。そこから一気に一の越山荘に下るが、その途中で白い雷鳥を見つけて大騒ぎ(私も白い雷鳥を見るのは初めて)。一の越山荘にてアイゼンを外し、そこから皆各々工夫して作ったビニールシートをお尻の下に敷き尻セードで滑り降りた。

午後 6 時、全員無事に山荘に到着、滑り込みセーフで、なんとか初日のハードスケジュールを終えた。天気も良く、気温も適当で、快適な、恵まれた 1 日だった。

< 2 日目 >

2 日目は、今回のメイン山行となる山崎カールからの雄山登山です。清水さんが感想文を書いたので、以下、読んでください。

< 第 5 期楽校 有志卒業山行～雄山登山～感想文 >

野木山想会 清水 一

室堂山荘朝 5 時、部屋を一人抜け出し外の様子を見に出た。今日は 1 年間の集大成の日。昨夜のアルコールが足らなかったせいか、体調は絶好調！冷え込みはそれほどなく想像していた通りの快晴。

雪の立山に来てから歩いていて思うことがある。それはどの斜面でも登り降りが自由で、どこからでも登れそうな 気がする。我々は他のパーティが目指す一の越ルートを横切って、真直ぐ立山稜線に向かう。

出だしは武者震い(イヤただびびっているだけ?)するほど急だ。当然歩いて登っている我々も辛いはずなのに 今回立山に来てからは全く呼吸が乱れることがなかった。それは先頭に行く八木沢 SL のロード。ゆっくりだが 全員バテさせる事なく、楽しく確実に高度を稼いで行く。

山崎カール手前から見る奥大日岳がすばらしい。休憩タイムには奥大日岳をバックに各班毎に記念写真を撮る。山崎カールに入ると傾斜はさらにきつくなるが、途中立ち休みを入れながらローソク岩に到着。



大パノラマに感激

ここから、固定ロープとマッシャーで確保しながら雄山山頂に直登する。

雄山山頂からの大パノラマを堪能し、下山する途中に、数羽の白い雷鳥と出会う。昨日より間近での写真撮影に成功、カメラを構えた登山者に囲まれても、動ずることのない雷鳥達は、繁殖期の恋のさや当て中だったのでしょうか？ なにか微笑ましい気分になりました。

楽校を振り返って見れば後半は殆ど参加できず今回の立山も参加できるかぎりぎりまで微妙だった。しかし雄山の山頂に立てば、眩しすぎる絶景！なによりも仲間と居る幸せ、好天の雪山の魅力を存分に感じた。来てよかった！楽しい1日はあっという間に終焉を迎えてしまう。まだ帰りたくないなあ。皆同じ気持ち？でもこんな思いをしたからこそ、次につながるんだろなっ！参加された皆さん、忘れないでね！自分も楽しかった楽校の雰囲気を決して忘れません。

P.S

@@@ 芙裕美ちゃん ご結婚おめでとうございます。未永くお幸せに VVV

(清水 はじめ)



雄山山頂にて記念撮影

< 2日目夜～3日目 >

2日目の夜の反省会から3日目についても、以下、感想文を読んでください。

< 第5期楽校 有志卒業山行～下山～感想文 > 宇都宮HC 荒井やよい

天気予報通り朝まで小雨が残っていた。出発して曇りしていた空が見る見るうちに、現地に近づくにつけ晴れてくる…。

車中から見る 黒姫山～妙高山～火打山～雨飾山など、真っ青な空に生える残雪の山々…そして室堂平は純白の世界！！なんとって初めてのアルプスですから…もう～心は躍りっぱなしです。

到着間もなく歩きたすが、午後だというのに風ひとつ無し 雪も歩き易い。「立山連邦」を眺めながら歩けるなんて最高～」でした～!! 夜は仕事で参加できなかったS木H樹さん差入れのワインで乾杯…おいしかったで～す。(お酒担当は律義にはたされましたね。有難うございました!!)

今日はちょっぴり早めのお休みタイム…(明日があるので…)

2日目、またまた 快晴・素晴らしい(きっと皆さんの普段の行ないがよかったのでしょう) とにかく雄山山頂(3003m)から眺める大パノラマは、奥大日岳、劔岳、白馬、槍、笠ヶ岳、黒部五郎岳、薬師岳…とにかく素晴らしい。そして、じっくりと景色を堪能することが出来ました。

少々早めの時間に全員無事下山…室堂山荘幹事(I鼻さん・K田さん)の手際よい荷物の下準備のお陰もあって、予定より早くロッジ太郎に到着した。 ロッジ太郎幹事(K原さん、K野さん)



大盛り上がりの夜のミーティング(ロッジ太郎にて)

の手慣れた采配で、夜の反省会は大宴会に・・・山の歌あり、某筋肉マンの片足スクワット演技ありで大盛り上がりでした。さすが～KK幹事のお陰でした～～少々飲み過ぎかも・・・。

3日目は、早起きした美女4人？でお散歩・・・から山菜取りに早変わり～沢山の「わらび」の収穫あり。気分も爽やかに ロッジ太郎を出発した。途中、昆布シメを沢山買い込んで 皆さん大満足でしたね。バスの中でも、山の歌を唄い 笑いながら 本当に楽しい「有志立山山行」でした!! バスが岩船に近づくに連れ(これでお別れか)と思うと何故か寂しい。でもこれからも又 いろんな所で活躍する皆さんと是非機会を作ってお会いしましょうね!!

大貫CL・八木沢SL・吉岡さん 本当に有難うございました。楽校第5期卒業生のみなさん 本当に有難うございました。